

第42回全日本実業柔道個人選手権大会戦評
(主に当連盟加盟チーム選手を中心)

女子63kg級

女子63kg級は新人田中が攻めの柔道で優勝を果たす。

了徳寺学園の新人田中美位は、準決勝戦までの2試合を危なげなく勝ち進み、準決勝戦でも試合開始早々から攻め続け、1分39秒、片桐夏海参段(コマツ)から小外刈で技ありを奪い、そのまま横四方固で抑え込む。

準優勝、昨年の覇者JR東日本女子柔道部の貝沼は、他を圧倒する柔道で順当に勝ち進む。阿部春奈参段(三井住友海上火災保険)との準決勝戦においても、1分過ぎ内股有効から上四方固に抑え込む。

準決勝戦第1試合

3 貝沼 麻衣子○	上四方固	3 阿部 香菜
(JR 東日本女子柔道部)		(三井住友海上火災保険)

準決勝戦第2試合

3 片桐 夏海②	合せ技	○3 田中 美衣
(コマツ)		(了徳寺学園)

決勝戦

3 貝沼 麻衣子	横四方固	○3 田中 美衣
(JR 東日本女子柔道部)		(了徳寺学園)

左組みの田中が攻勢に出て、右組みの貝沼が守勢に回る展開が始まる。押され気味の体勢から放つ貝沼の内股も組手不十分のため不発に終わる。1分29秒には組み合わない貝沼に指導1。その直後、田中が貝沼の内股を振り回して潰し、伏せた貝沼を裏返しにして1分50秒に横四方固で抑え込む。